

福岡市新ビジョンの 策定に向けて

1. はじめに
2. 福岡市を取り巻く社会経済状況
3. 福岡市の現状と課題
4. 25年後の都市像（期待する姿）
5. 福岡市の財政の現状と課題
6. 財政の視点から25年後に期待する姿
7. 都市像の実現に向けた財政局のあり方
8. おわりに

財政局新ビジョン検討会

2011.8

1. はじめに

財政局は、

市民サービスの充実と都市の発展に向けた
様々な政策を推進できるよう、

財政健全化や市有施設の適切な整備、
資産の有効活用などに努め、
重要施策を実施する各局の下支えを行うことを
日常業務としています。

今回、新ビジョンの検討を行うにあたり、
日頃の業務を通して感じている
「福岡市の財政のあり方」を念頭に置きながら、
財政局職員の観点から、
25年後の福岡市の都市像について、
夢を語ってみたいと思います。

2011.8

総務資金課
財政調整課
公有財産課
契約課
納税企画課
技術企画課
アセットマネジメント推進課
事業手法等検討推進担当

丸山孝志
山嶋 剛
福田俊大
服部正一
楢原大輔
野口真一
坂口孝裕
高橋伸也

総務資金課

//

堀江耕一
舩岡隆行

2. 福岡市を取り巻く社会経済状況

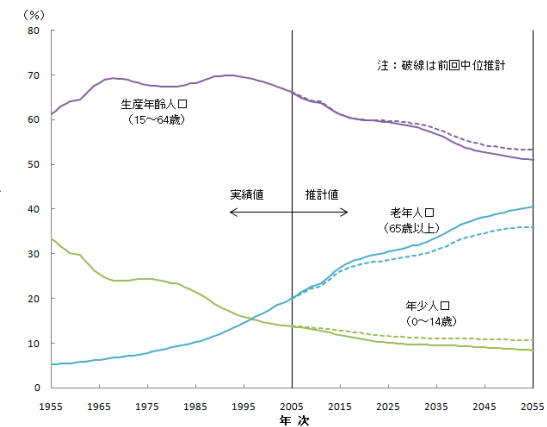
1) 日本における超成熟化社会の到来！

● 経済の停滞

モノが充足する現代社会においては、技術革新による過剰な生産能力に対して、消費需要は低迷している。

● 少子高齢化の進展

日本国内の少子高齢化は急速に進展し、総人口に占める高齢化率は、20%を越え世界で最も高い。



「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」報告書
(国立社会保障・人口問題研究所)より

2) 経済発展を続けるアジア諸国！

● 経済成長を続ける中国市場

莫大な人口を抱え、巨大なマーケットとして経済成長を続ける中国。2010年には、GDP世界第2位となり、巨額の富を得て増加する富裕層。

3) 世界的な情報化社会の進展！

● インターネットによる情報のボーダレス化

インターネットの普及により、様々な情報が容易に取得できるようになる。また、様々な手続きがインターネットを通じて実施できるようになる。

3. 福岡市の現状と課題

現状！

- 人口増加と事業所の集積による“都市活力”
- 大学が多く若者が多い
- “アジアに近接”し、ビジネス、観光に優位
- 「陸」「海」「空」の交通結節と“都市インフラの充実”
- 商業施設、公共施設など多様な施設の立地
- 高評価を得ている“住みやすさ”
- おもてなしの気質
- 都市と自然が調和した“コンパクトシティ”
- 自然災害の少なさ

課題！

- 日本・九州の少子高齢化による人口減少
→ 往来人口の減少、都市活力の低下！
- 第3次産業に偏った産業構造
→ 人口減少による都市経済の衰退！
- 国の景気動向に影響を受けやすい都市経済
→ 国の景気低迷や円高、デフレの継続！
- 文化・歴史資産が活かされず、乏しい観光資源
- マナー、治安の悪さ
- 流入人口の多さと集合住宅中心の住環境
→ コミュニティの希薄化！

4. 25年後の都市像(期待する姿)

都市像

アジア・九州のCapital City

- ・ 経済活動を牽引する！
- ・ 世界各地から多様な人が集う！
- ・ ビジネスや生活の拠点！
- ・ 集客，観光分野の充実！
- ・ 住みやすさNo1！

アジアの
“絆”
をつなぐ
都市

住みやすさの魅力溢れるまち

- ・ 自然や景観が豊かな住環境！
- ・ 安定した雇用！
- ・ 治安，食の安全と医療，福祉，教育の充実！
- ・ 災害に強い！
- ・ コンパクトシティ！

次世代に向けて成長し続ける都市

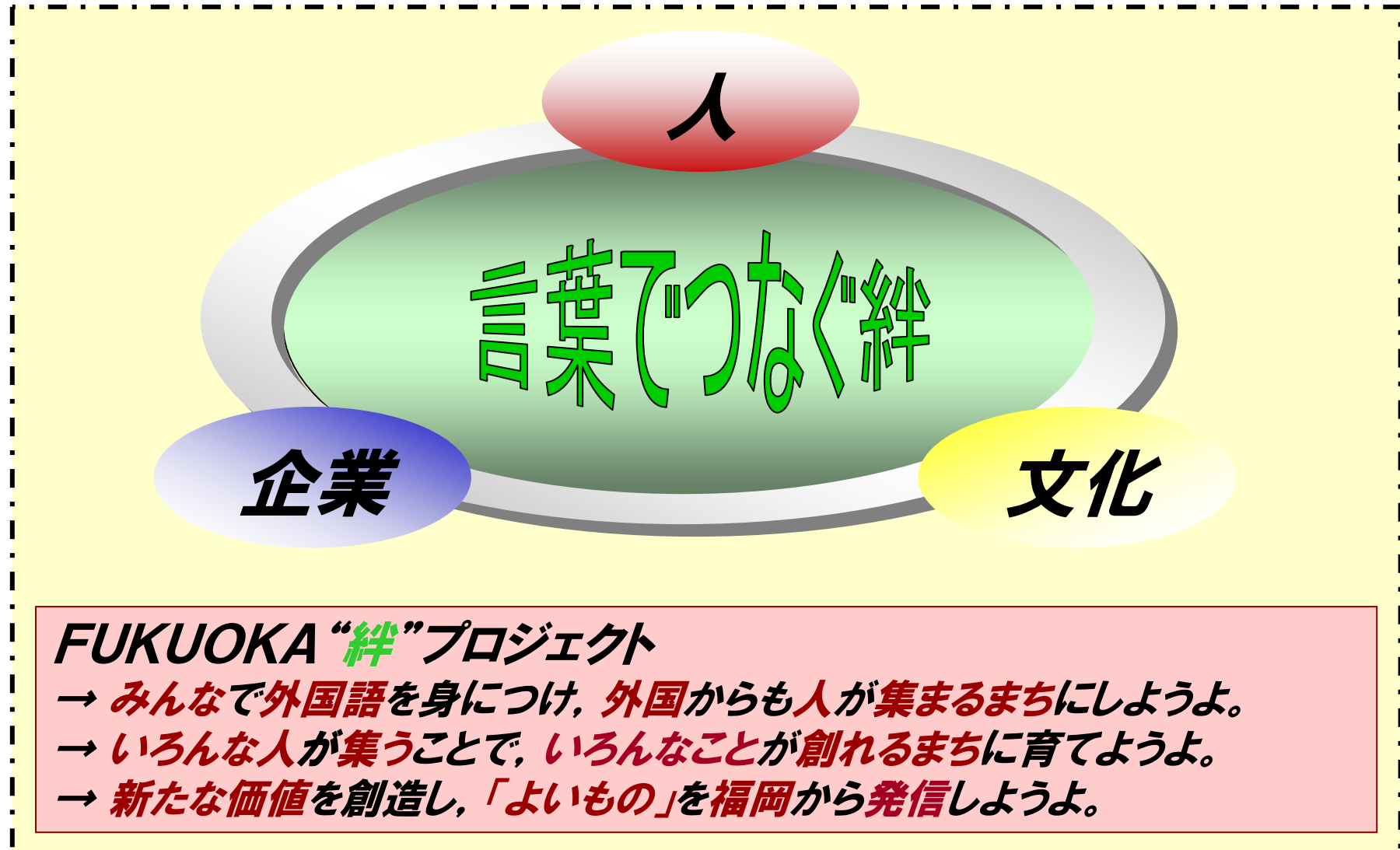
- ・ 次世代型先端産業の集積！
- ・ 福岡発の技術革新
- ・ 多様な人材と英知が集積し，福岡から新たな価値を創造！

人が生き活きと輝くまち

- ・ 心の触れ合いを感じる！
- ・ 行政と市民が信頼関係でつながる！
- ・ 心の豊かさを感じる！（刺激と癒し）
- ・ 福岡人，日本人，アジア人の精神！

4. 25年後の都市像(期待する姿)

【アジアの“絆”】たとえば・・・



そこで

福岡市の**“財政”**に

目を向けてみると・・・

5. 福岡市の財政の現状と課題

現状！

- 財政健全化の取り組みにより“市債残高は減少傾向”にある
- 市町村合併による公共施設の重複がない
- 施設の効率的な維持管理に“早い段階から取り組んでいる”

課題！

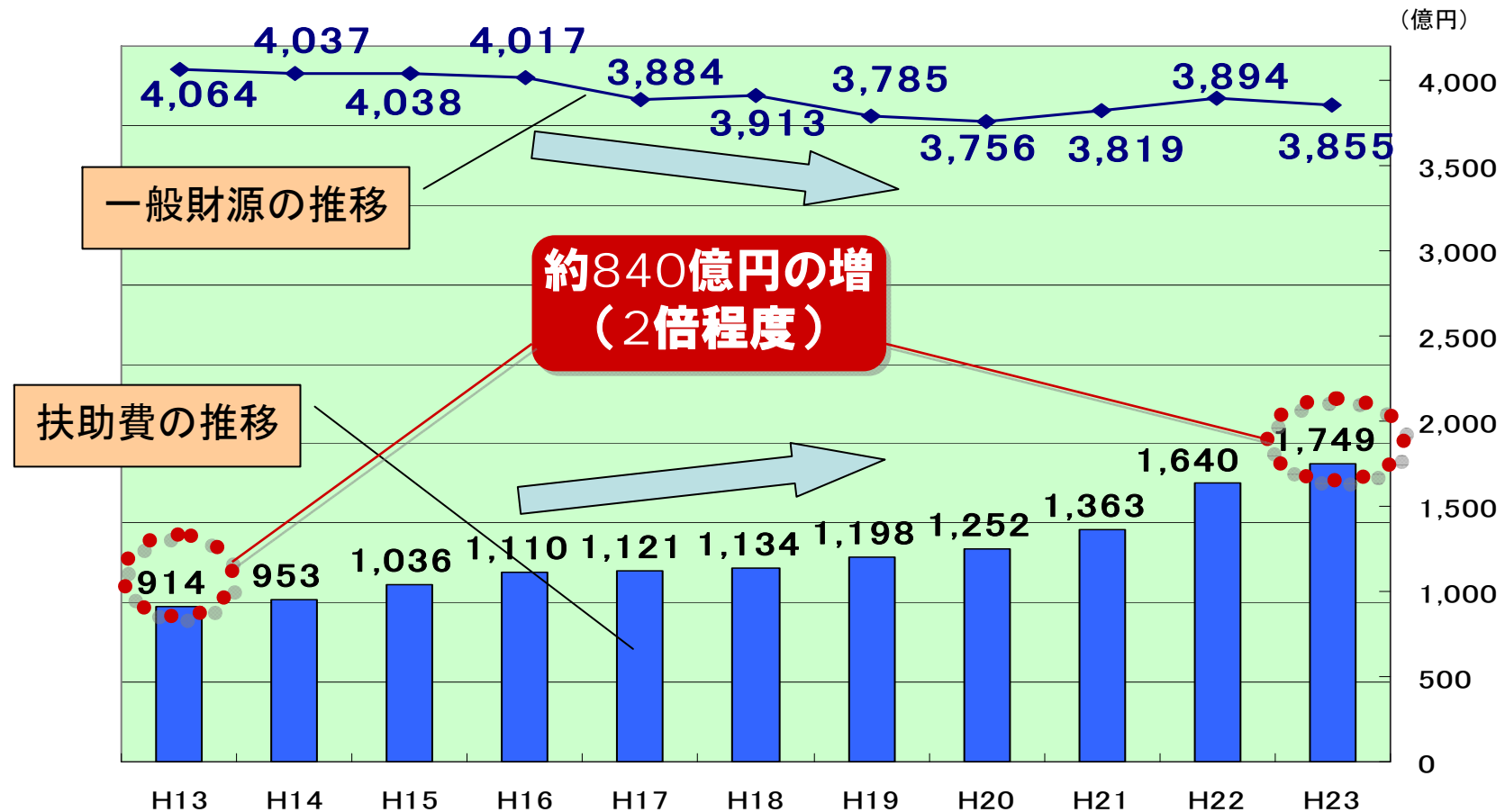
- 日本経済の停滞により“伸びが期待できない税金”
- 急増する扶助費など“増加し続ける義務的経費”(予算の硬直化)
- 依然として“高い市債残高”
- 膨大な社会資本（公共施設、インフラ）の“老朽化と維持更新費用の増大”
- 厳しい財政状況により“先細りする公共事業”

5. 福岡市の財政の現状と課題

【一般財源と扶助費（社会保障関係費）の状況】

～一般財源(収入)は減少傾向にある反面、扶助費は毎年増加～

少子高齢化の進行に加え、昨今の厳しい経済情勢から、近年、生活保護費などの扶助費（社会保障関係費）が毎年増加の一途をたどっている。

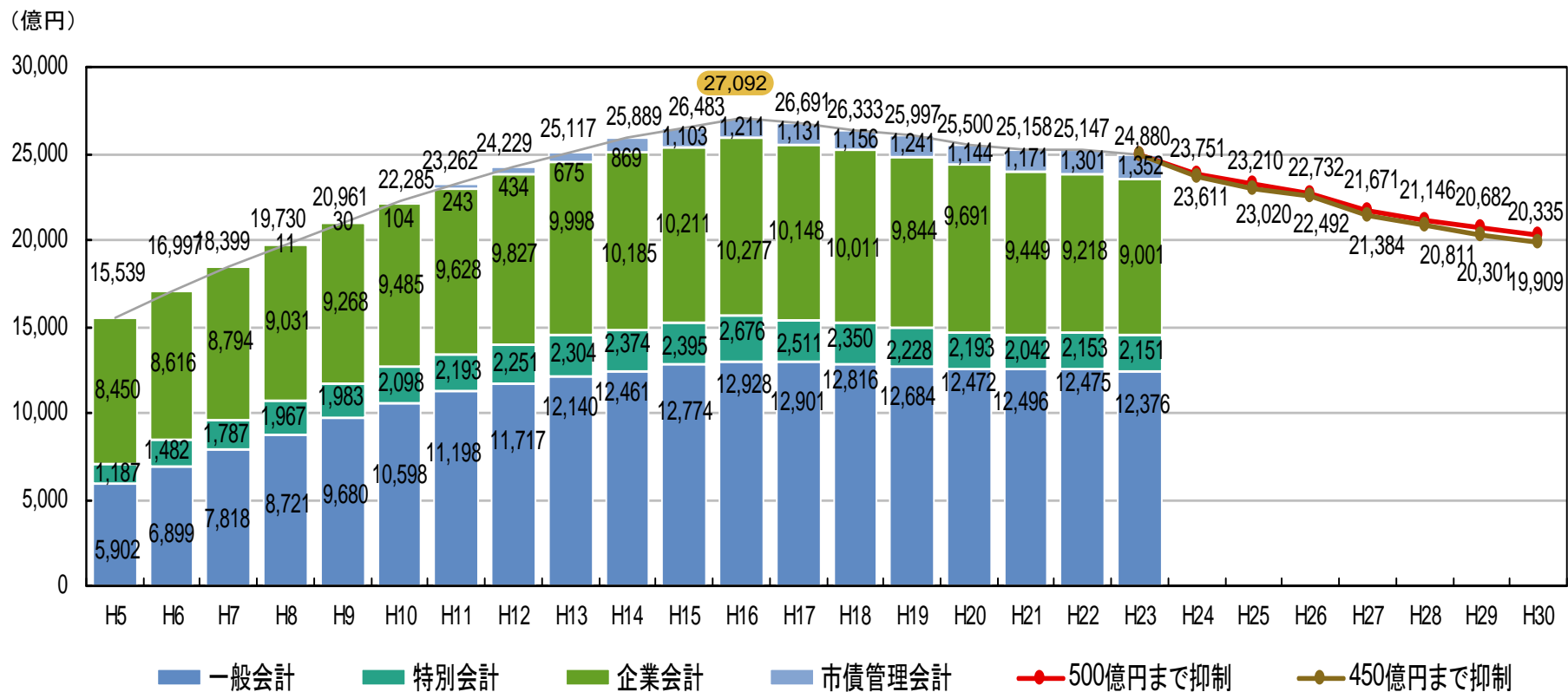


※平成21年度までは決算、平成22年度は最終予算、23年度は当初予算

5. 福岡市の財政の現状と課題

【市債残高の推移】

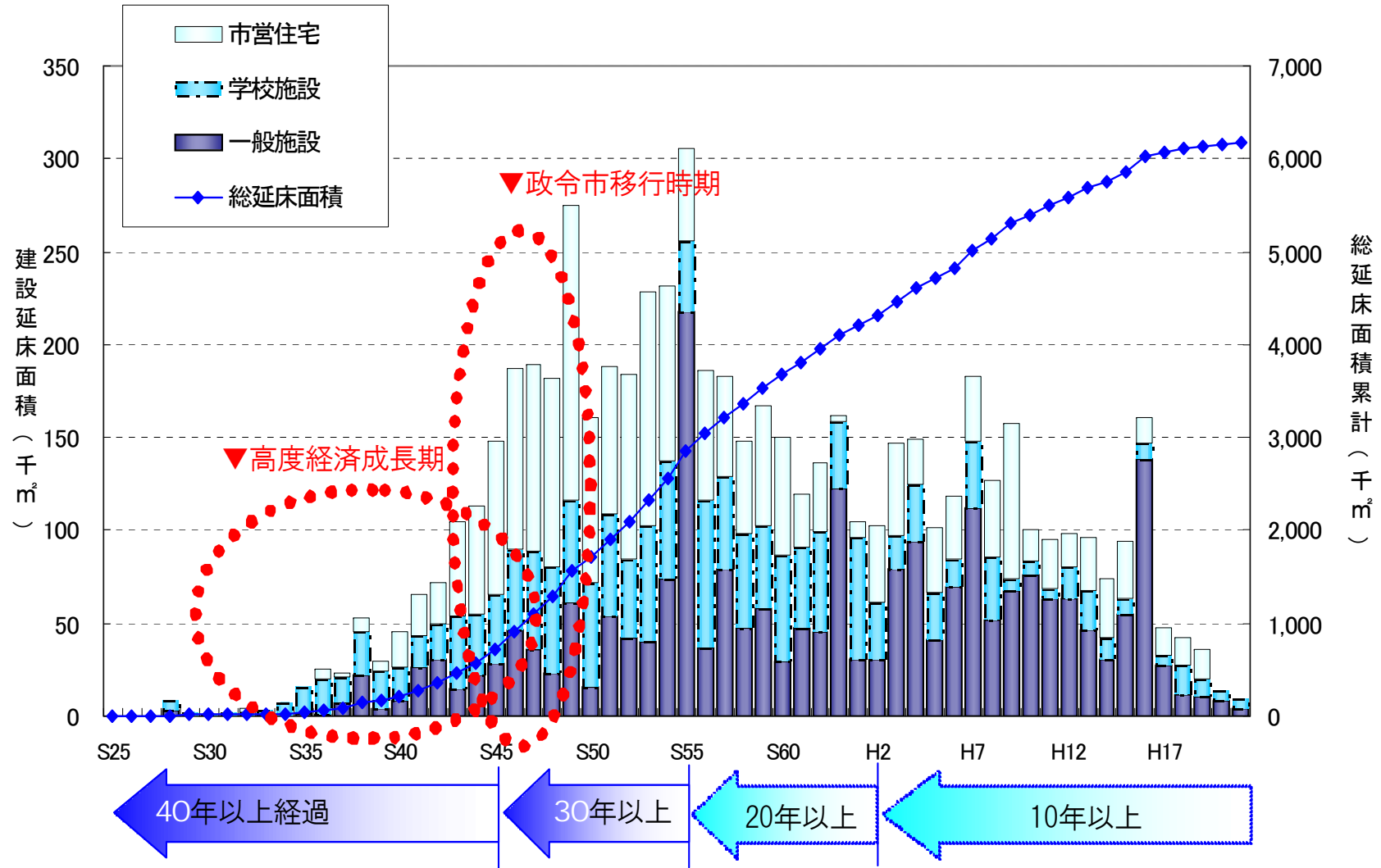
- 1) 平成16年度をピークに、一般会計，特別会計，企業会計の全会計において **7年連続で市債残高が減少**する見通し。
- 2) 一般会計の市債発行額を450～500億円に抑制した場合、全会計の **市債残高は平成30年度には2兆円前後まで縮小**する見通し。
- 3) 一人当たりの市債残高は約177万円（H21決算）と **政令市の中でも大阪市に次いで2番目に多い状況**。



※平成22年度までは決算、平成23年度以降は決算見込

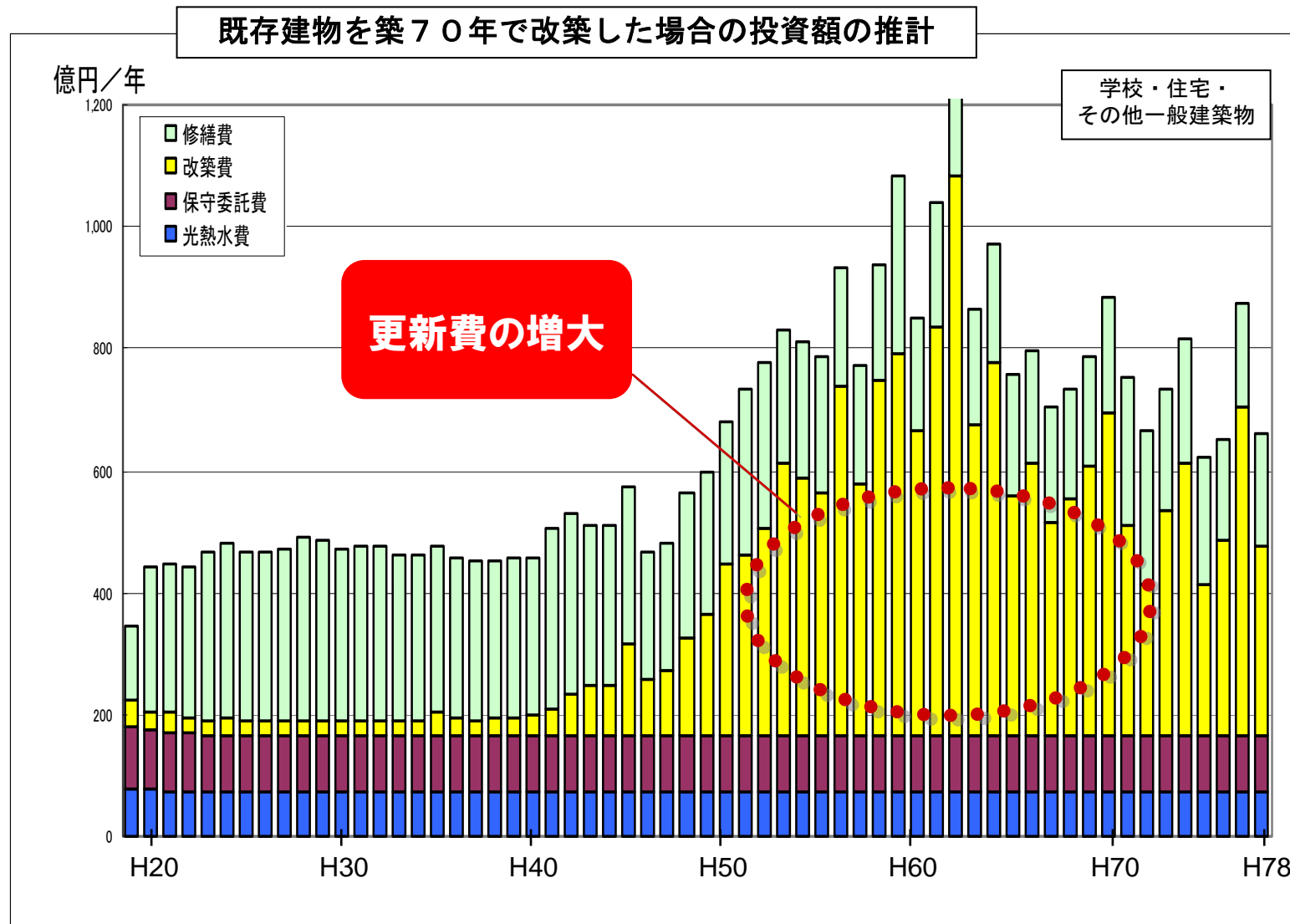
5. 福岡市の財政の現状と課題

【市有建築物の建設年次と保有床面積】



5. 福岡市の財政の現状と課題

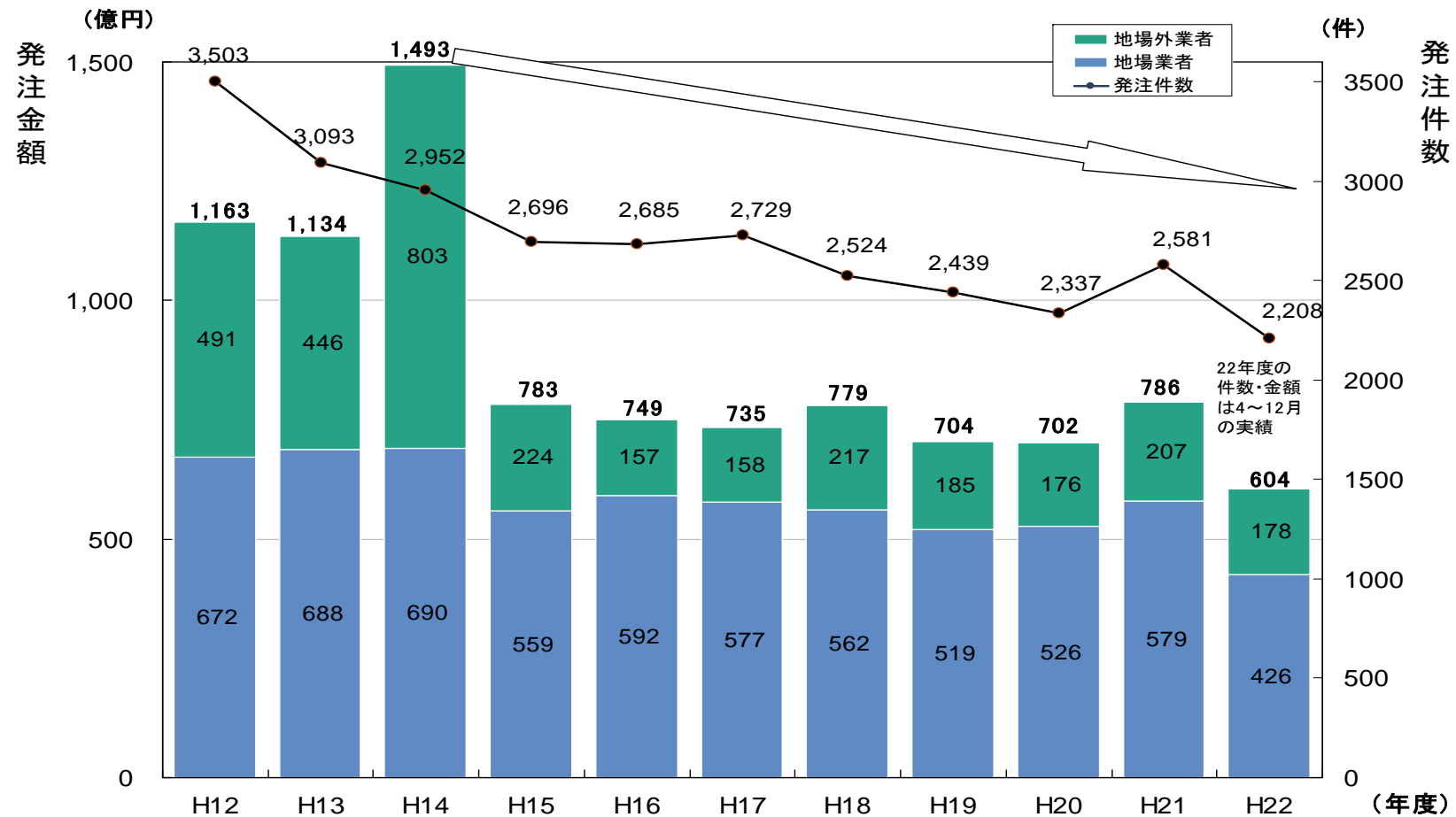
【市有建築物整備にかかる投資額の推計】



5. 福岡市の財政の現状と課題

【厳しい財政状況により先細りする公共事業】

高速鉄道3号線、九大移転、鮮魚市場再整備、アイランドシティ関連工事等により、発注額が大きかった**平成14年度をピークに発注額・件数は減少傾向**となっている。



※市長部局・交通局・水道局発注の工事

6. 財政の視点から25年後に期待する姿

税財源が充実している！

- ・ 地方自治体の役割（仕事量）に応じた税源が確保できている。
- ・ 新規産業が育ち、市民も進んで納税するなど市税収入が向上している。

市債残高が圧縮され財政が健全化している！

- ・ 行政のスリム化が進み、民間企業の活躍と各局の自律経営が進んでいる。
- ・ 将来の財政状況を見据えた予算編成が行われている。



都市財政の硬直化が回避され、都市の発展や市民サービスの
充実に向けて**必要な政策に十分な投資がなされる**

柔軟な財政構造が実現

6. 財政の視点から25年後に期待する姿

市民サービスの提供に必要な社会資本が適切に維持されている！

- ・ 市有資産（不動産）が有効に活用されている。
- ・ 必要最低限のコストで社会資本が維持され、公共サービスの質が保たれている。
- ・ 官民が連携した新たな公共事業の仕組み（新たなパブリック）が確立している。

高品質な公共事業と力ある地場企業が地域経済を支えている！

- ・ 公共事業の品質を確保する契約方式が確立され、公共施設の質が向上している。
- ・ 地場企業の競争力や技術力が向上し、地域の雇用や税収を支えている。



力をつけた地場企業と信頼を得た行政が
官民協働で知恵と資金を出し合いながら、
既存ストックの再編と次世代型の公共事業を確立し、
持続可能な社会資本(公共施設, インフラ)が実現

7. 都市像の実現に向けた財政局のあり方

1) 税財源が充実している！

● 地方分権と税源移譲の加速

○自治体税財政制度の改革

- 特別自治市の設立 又は 道州制への移行（県と市の融合＝二重行政の解消）
- 国からの補助金を廃止し、必要な財源は税源移譲による増収で確保

● 施策推進のための独自財源確保

○市独自税(法定外税)の導入

- 福岡市の特色や施策にリンクした独自の税を新設＝事業の推進に必要な資金を確保

● 成長分野への投資

○次世代型先端産業の育成

- 雇用の拡大(労働人口の増加)＝若者の定着(流出防止)

○魅力あふれるまちづくり

- 医療・教育・福祉・子育て支援等の充実
- **アジアのベッドタウン**に！＝環境を重視した住宅地の造成など
- 観光資源・おもてなし文化の活用＝観光客や海外企業の誘致

アジアからの人流の活発化
人口増加の持続(高齢化の鈍化)

↓
市税の増収

● 市税収入率の向上

○公平公正な信頼される税制の確立

- 税制を簡素化し分かりやすく！ 電子化・オンライン化による利便性向上！
- 不公平をなくす！＝課税漏れ等の無い**適正課税**の実現と**滞納整理強化**

7. 都市像の実現に向けた財政局のあり方

2) 市債残高が圧縮され将来に負担が残されていない！

● 財政運営と予算制度

○官民役割の見直し

→民営化や民間委託など一層見直しを推進し、**小さな行政**を実現！

○事業の選択と集中

→行政評価に基づく施策の重点化と事業の効率化を図り、無駄のない市政運営！

→各局が財源調達に責任を持つ、本当の意味での**自律経営**の推進！

○中長期的視点を踏まえた予算制度の確立

→的確な将来推計や財政需要の分析による中長期計画の策定とこれに基づく予算編成で**健全な財政運営**！

○市民の納得

→予算編成過程や施策の内容、将来見通しについて、積極的な情報提供により**市民の納得と信頼**！

● 民間資金の活用

○施設整備、管理の民間活用

→PPP・PFIなどの新たな整備手法、契約手法の導入(**時代のニーズに合わせる!**)

7. 都市像の実現に向けた財政局のあり方

3) 市民サービスの提供に必要な社会資本が適切に維持されている！

● 社会資本のトータルマネジメント

- 未利用地の活用・売却
 - 保有資産の他用途へ転用・集約化等
 - 未利用地の貸付利用、売却
- 既存資産の有効活用の推進
 - 道路・河川など、公共空間のイベント活用
 - シンボリックな公共施設を観光資源として活用
- 社会環境の変化に柔軟に対応
 - ユニバーサルデザインな施設への改修
 - 災害に強いインフラ整備

● 適切な維持管理の推進

- アセットマネジメントの推進
 - アセットマネジメントを推進し、既存施設の長寿命化やランニングコストの削減
- 公共サービスの品質の確保

● 官民協働による資本整備

- 施設整備・管理における民間活力(ノウハウ・技術力・資金)の活用
- 市民やNPOとの共働による維持管理

7. 都市像の実現に向けた財政局のあり方

4) 高品質な公共事業と力ある地場企業が地域経済を支えている！

● 質の高い公共事業

- 多様な発注方式の活用 (PPP, PFIなど)
 - 民間の資金・技術力を活用した発注方式により事業を推進 (効率化・品質向上)
- 公共事業のトータルマネジメント
 - 同一エリアで複数局が行う事業をトータルマネジメント (効率化・品質向上)
 - 例) 博多駅前での事業 / 住宅都市局: 地下車路, 道路下水道局: 雨水幹線, 交通局: 地下鉄延伸, 博多区: 道路整備等
- ICT (情報通信技術) の活用
 - 入札, 受発注者間の情報伝達等にICTの活用 (電子入札, 電子自治体) を拡大 (公正・透明性の確保・効率化・品質向上)
 - 情報化施工 (設計データにより機械を制御して施工) の実施 (効率化・品質向上)

● 地場建設産業のイノベーション (技術革新・経営革新)

- 官民連携による技術力・生産性の向上
 - 新技術等を活用した事業の効率化による生産性の向上
 - 総合評価方式等を推進し, 官民の技術力のスパイラルアップを図る
 - 福岡の技術力を官民が連携してアジアへ展開
- 地場企業を活用した新たな事業手法 (包括的な事業等)
 - 地域の企業による維持管理と補修工事をセットにしたエリアマネジメントの実施
- 産学官連携による建設産業の魅力創出
 - 社会資本の重要性と支える技術の難しさをPR (現場見学会, 交流会など)

8.おわりに

アジアの“絆”をつなぐ都市に向けて

アジア・九州の*Capital City*

住みやすさの魅力溢れるまち

人が生き活きと輝くまち

次世代に向けて成長し続ける都市

「出会い・にぎわい・夢」あふれる *Fukuoka* !!
だからこそ いろんな人 たくさんの投資が集まる。
そして...

税財源が充実している!

市債残高が圧縮され財政が健全化している!

市民サービスの提供に必要な社会資本が適切に維持されている!

高品質な公共事業と力ある地場企業が地域経済を支えている!

8.おわりに

そして、人が集い交流するまち“福岡”へ

あこがれのマイホーム
福岡ヒルズ！



スポーツ・芸術・歴史・お祭り！
楽しそう！ 行ってみよう！



チャレンジ！
ビジネス・投資・一攫千金！



人もペットも
ボーダーレス！



いざFukuokaへ！